

第2学年ARⅡ・数理探究合同 「ハイブリッド型3年生に学ぶ会」実施

5月25日(火)に、2年普通科理系クラスと2年理数科合同で、オンラインを併用したハイブリッド型でのパネルディスカッションを実施しました。

昨年度の課題研究で代表発表をした普通科及び理数科の3年生8名が登壇しました。

Zoomで配信し、2年生は密を避けるために各教室から参加しました。



まず3年生が課題研究の概要を1枚のスライドを用いて説明し、2年生は質問を考えました。質問は一人一台端末を利用して投稿しました。上位に上がった質問を

コーディネーターの教員が3年生に尋ねました。

パネルディスカッションでは、テーマの選び方や工夫、苦労したこと等について意見交換が行われました。

SSH委員会発足！ 委員長へのインタビュー

今年度、生徒による自発的な探究活動を推進するために生徒SSH委員会を発足させました。初代委員長の中村柊君(2-F)のインタビューを紹介します。



SSH委員長 中村 柊 君

きっかけは？

もともと、課題研究を通して、進路に対する理解を深め、大学での学びに生かしていけると考え、探究クラスであるF組に進級しました。

SSHの活動にも興味があったため委員会活動も、SSH委員を選びました。

SSH事業について

最初の大きな活動として、2年生を中心に「ハイブリッド型3年生に学ぶ会」の運営をしました。

教室からでも、きちんと先輩方の話が聞けるようにするために、事前準備やオンラインでの接続練習を頑張りました。

今後の意気込みと一言

SSHオンライン講演会に向けて、最新の科学的話題に関心を持ってもらえるように、内容の検討や講師の先生との打ち合わせを頑張りたいです。みなさんも、協力し合いながら積極的にSSH活動に取り組んで欲しいです。

SSH NEWS

「ハイブリッド型3年生に学ぶ会」 slidoでのアンケート結果

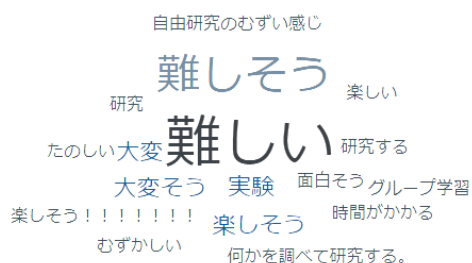


図1 課題研究のイメージのワードクラウド
(2年生5月)

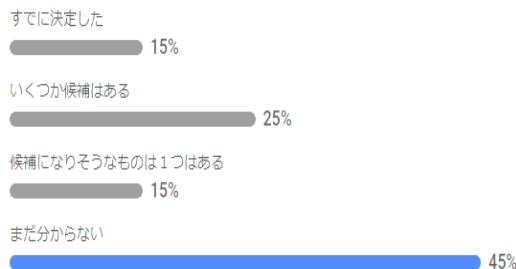


図2 課題研究のテーマとして候補の有無
(2年生5月)

3年生に学ぶ会の2年生からの質問用アプリに、昨年度SSHオンライン講演会でも使った「slido」を利用しました。

2年生の利用は初めてだったため、最初に2つのアンケートを実施しました。最初に「課題研究のイメージは？」というアンケートに答えてもらいました。

まだ始まったばかりと

いうこともあり「難しい」というイメージが全体としては大きいことがわかりました。

次に「課題研究のテーマとして候補はありますか？」という問いには、約半数がまだ分からないと答えていました。

実際に、パネルディスカッションでもテーマ設定に関する質問が多く出されていました。

パネルディスカッション オンライン開催の メリット/デメリット

【主なメリット】

- 全体で集合しなくてよい。
- 短時間の質問集計可能。
- 録画は容易で見やすい。

【主なデメリット】

- 聴衆の反応が見えにくい。
- 匿名で質問が出せる。
- オンラインのスキルが必要。

— 東海大学工学部 — 自然科学部VRに関する オンライン情報交換会

以前から物理部とVRに関する共同研究をしていた東海大学基盤工学部の村上祐治教授と情報交換会をZoomで実施しました。今年度は、自然科学部によるVRを用い

た研究や発表を計画しており、大学での研究について、実際のデータ等をもとに話をうかがいました。高校で実施可能な手

法についても学ぶことができました。

共同研究に向けて今後も情報交換を継続していく予定です。

